

# 必要な情報を収集し、活用する力を高めるためにはどうしたらよいか

指定校 2 年次 山ノ内中学校代表 内山 真弓  
実践授業者 中澤 香織

## 1, 本校のNIEの現状

本校は、平成 22 年度に「長野県 NIE 研究指定校」に認定された。

1 年次は、社会科において新聞のスクラップ作りに継続的に取り組み、集めた記事をテーマに沿って再構成する「スクラップ新聞づくり」の授業（3 学年）を公開した。この研究では、新聞に親しむ生徒を育てる上でスクラップ作りが有効に働くこと、スクラップを再構成する過程で記事を比較しながら読む必要が生じ結果的に理解が深まることが確かめられた。2 年次は、社会科以外の教科で新聞を取り入れた学習を展開しようと考え、国語科での学習を進めてきた。

本校には、国語の授業に限らず、板書されたことをきちんとノートにとろうとするなど真面目に学習に向き合える生徒が多い。しかし、読み取った内容から自分に必要な情報を選んで考えをまとめたり、情報の配列を工夫してわかりやすく表現したりする場面では、受け身になりがち傾向もある。

また NRT の結果からは、「読むこと」の領域で「論理の展開や文章の特徴の把握」や「主題に即した読み取り」、「書くこと」の領域で「書く材料の収集・内容の明確化」の力が全国平均をやや下まわっていることがわかった。

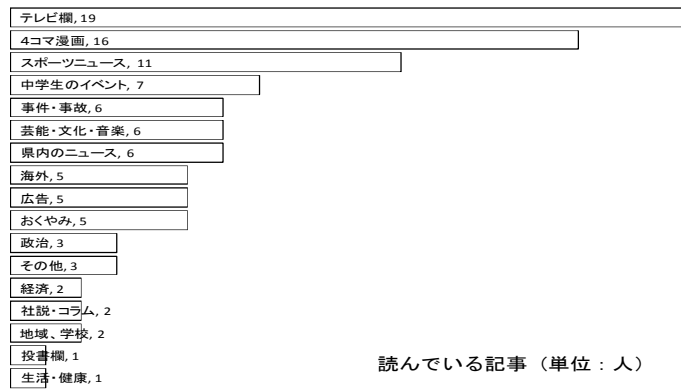
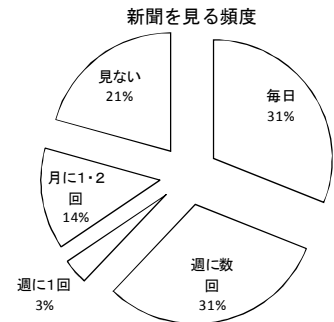
そこで、これらの生徒に、表現意欲の湧く題材を提示し、類似した内容を扱った新聞記事を分析して必要な情報やその配列を明らかにさせるようにすれば、文章の構成や特徴を読み取ったり、目的に沿って書く材料を収集したりする経験が積めるものと考え、実践を試みた。

## 2, NIE 実践のねらい

### (1) 新聞に関する生徒の実態 (抽出学級 2 年 3 組のアンケート結果より)

抽出学級の生徒のうち、新聞を毎日見る者は 30%。逆に新聞を全く見ないか月に 1~2 度見る程度の生徒は 35% で、「新聞に親しんでいる」とは言えない状況であった。

また、目を通す欄のベスト 3 は「テレビ欄」「4 コマ漫画」「スポーツニュース」で、第 4 位の「中学生に関わるイベント・スポーツ」は



学級生徒の 4 分の 1 しか読んでいないなど、見る記事の偏りも大きい。

7 割弱の生徒が情報源としての新聞の価値を認めているが、実際の生活の中で「役に立った」「おもしろかった」と思った経験のある生徒は少なく (学級生徒の 5 割)、「学校の調べ学習で何を使うか」という設問に新聞を挙げる生徒は 2 名しかいなかった。これらのことから、

抽出学級の生徒は新聞記事を読む経験が少ないため、情報の正確性や文章の簡潔さ・合目的性といった新聞の特長を実感できていないことが分かる。まずは新聞に触れる機会を多くし、新聞のよさや有用性に気づくことができる学習活動が必要であると考えた。

## (2) 研究の概要

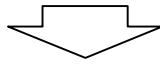
### 実態 (このような生徒に)

#### 国語学習

- 文章を分析的に読んだり、必要な情報を引き出したりした経験が少ない。
- 自己の考えを伝えることに消極的。
- 明確な意図とそれにふさわしい材料で文章を書くことができにくい。

#### 新聞活用に関わって

- 新聞を読む習慣が身につけていない。
- 新聞の良さや有用性を実感することが少ない。
- 目的を持って記事を読んだり分析したりした経験が少ない。



### 手だて (こうすることによって)

- 山ノ内中学校の有名人を、小学6年生に紹介する記事を書く。



- 自分たちが最上級生として迎える新入生を対象にすることで、表現意欲の向上と相手意識の明確化が図れる。
- 小学校と連携し、実際に読んでもらった反応をフィードバックすることで、成就感を味わわせることができる。

#### 【相手意識、目的意識の明確化】

- 生徒が関心を持ちそうな人物を取り上げた新聞記事から、人物紹介に盛り込むべき情報を読み取る。
- 読み取ったことをワークシートに整理し、表現の際に参照できるようにする。



- 印象深い人物紹介にするため、情報の集め方や文章構成の仕方を知りたいという必要感を基に、明確な目的を持って記事を読み、内容を分析することができる。

#### 【読む力の育成】

- 人物紹介に必要な情報を的確に聞き出せる質問を考える。
- 記事の構成に学んで人物紹介を書く。



- 取材相手から必要な情報を引き出すため、試行錯誤しながら質問の表現を練り上げることができる。
- ワークシートから、人物紹介記事の情報配列・文章構成の仕方を学び、自分の表現に生かすことができる。

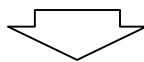
#### 【表現力の育成】

- グループ内の意見交換で、読み取りを確認したり、表現を練り上げたりする。



- 感じ方・考え方の違う友と意見交換することで、新たな気づきや理解の深まりが生まれることを実感できる。
- 意見交換、取材や紹介文作成の役割分担を通して、自他の長所・短所や協働学習での個のあり方が理解できる。

#### 【共に学ぶ姿勢の育成】



### 願う姿 (このようになるだろう)

#### 国語学習

- 文章がどのような情報をもとに、どのような構成で作られているか意識しながら読める。
- 積極的に他とコミュニケーションし、自他の違いの中から何かを学ぼうとする。
- 目的意識、相手意識を基盤として、材料を取捨選択し表現を練り上げていこうとする。

#### 新聞活用に関わって


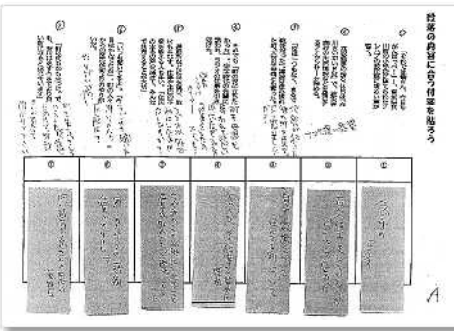
- 多様な情報が盛り込まれ、新たな興味・関心を導く契機となる新聞の良さを感じ、積極的に読もうとする。
- 必要な情報を簡潔に伝えたり事柄を印象深く伝えたりする文章のモデルとして、新聞記事を活用しようとする。

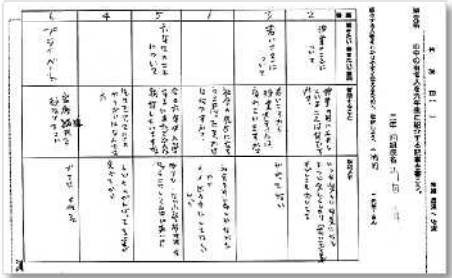


### 3, NIE実践の内容

#### (1) 単元名 「山中の有名人」を6年生に紹介しよう ～人物紹介文を書く～

- (2) 単元の目標
- ①人物紹介の記事を読んで、紹介文を書くために必要な内容を読み取ることができる。(読む)
  - ②取材して集めた情報の中から、紹介文に必要な情報を選び、読み手を意識して、人物を印象づける表現や文章構成を工夫して書くことができる。(書く)
  - ③より良い文章にするため、書いた文章を互いに読み合い、感想を伝えたり助言したりできる。(話す・聞く)
  - ④わかりやすい文章になるよう適切な語句を選択し、文章の推敲をすることができる。(言語事項)

#### (3) 単元計画 (7時間扱い)

段階	学 習 活 動	支 援 ・ 指 導 ◎評価	時 間
I	<p>○単元全体の活動の流れを確認し、紹介したい「山中の有名人」を決めよう。</p> <p>○人物を紹介した記事を探してみよう。</p> <p>○人物を紹介した記事を読んで感想を書き、書かれている内容を読み取ろう。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の活動を説明したあと、4人グループをつくり、紹介する人物を決めさせる。なぜ、「有名人」なのか、選んだ理由やいちばん伝えたいことも明確にさせる。</li> <li>・一日分の新聞を各自に用意させ、見つけた記事はスクラップ帳に貼らせる。</li> <li>・スクラップした新聞記事を読ませ、感想や内容を書かせる。</li> </ul> <p>◎単元全体の学習活動を見通すことができ、紹介文を書く意欲を持てたか。</p> <p>◎人物紹介の記事を探し、感想や読み取った内容を書くことができたか。</p>	第1・第2・第3時
II	<p>○人物を紹介した記事を読んで、「人物紹介の書き方」を考えよう。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各段落の内容を読み取らせる。</li> <li>・インタビュー内容(質問項目)を予想させる。</li> <li>・新聞記事から読み取った内容を「紹介文を書くための材料」として、全体に確認させる。</li> <li>・インタビュー項目は自分たちの取材内容を考える際の参考にするよう指示する。</li> </ul> <p>◎新聞記事の各段落の内容を読み取り、内容を書いた付箋をワークシートに貼ることができたか。</p> <p>◎新聞記事の内容からインタビュー項目を予想し、ワークシートに書くことができたか。</p>	第4時(本時)

	<p>○インタビュー内容を考えよう。 (取材計画)</p> <p>○取材をしよう。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「紹介文を書くための材料」をもとに、インタビュー内容を考えさせる。</li> </ul> <p>◎インタビュー内容を考えてワークシートに書くことができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間等も使って取材させる。</li> </ul>	第5時
Ⅲ	<p>○インタビューの答えを整理して、紹介文の構成を考えよう</p> <p>○紹介文を書いて、推敲しよう。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋メモ(第3時)を使って配列を考えさせる。</li> <li>・どのような順序で書けば人物を印象づけられるかという観点を示す。</li> <li>・内容に不足がある場合は、再度質問を考えさせる。</li> <li>・グループ内で分担して、全員が書くようにさせる。(600字程度)</li> </ul> <p>[推敲の観点]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①誤字・脱字・ねじれの有無</li> <li>②書き出しの工夫</li> <li>③一文の長さ</li> <li>④難解な語句の有無</li> </ol> <p>◎インタビューの答えの中から紹介文に必要な情報を選び、読み手を意識して文章を書くことができたか。</p>	第6時
Ⅳ	<p>○紹介文を読みあい、感想やアドバイスを伝えよう。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の使い方や表現の仕方など他のグループのよいところを見つけ、取り入れたり、アドバイスを受けて改良したりさせる。</li> <li>・清書させる。</li> </ul> <p>◎他のグループの紹介文を読み、感想やアドバイスを言うことができたか。</p>	第7時

#### (4) 本時の学習展開

##### ①主眼

小学校六年生に山ノ内中学の有名人を紹介したいと願う生徒が、紹介記事に盛り込む内容を考える場面で、段落ごとに分けた新聞記事に小見出しをつける活動を通して、人物を紹介するために必要な内容とそれを引き出す質問のしかたを考えることができる。

##### ②本時の位置 7時間扱い中の第4時

##### ③指導上の留意点

- ・読み取りが苦手な生徒も、ヒントをもらいながら考えることができるよう、グループ活動を取り入れる。
- ・人物紹介に入れる内容がつかみやすいよう、新聞記事は1内容1段落に再構成して与える。

段階	学習活動	生徒の反応	○指導 ◎評価	時間
導入	1 前時の学習を振り返る。	<p>T：前会の授業では、新聞記事を切り抜き、感想を書いたり、中にどんな内容が書かれているか書いたりしました。スクラップ帳を開いて下さい。そこに書かれている内容を発表して下さい。</p> <p>M生 福島背負い戦う ①阪神大震災 ②東日本大震災 ③歳内君のこと ④歳内君の目標 ⑤両親の思い ⑥歳内君の決意</p> <p>Y生 垣内さん ①大会のこと ②振り返り ③垣内さんの心情 ④目標 ⑤家系図 ⑥年齢、出身地、いいところ</p> <p>YM生 ハヤブサを生み出す ①ハヤブサ君誕生のきっかけ ②選んだ道 ..... (あとはわかりません)</p> <p>T：似たような内容が盛り込まれた人？ 数人挙手</p>	<p>○前時で扱ったスクラップで、どんな事柄が紹介されていたか確認させる。</p> <p>○2～3名に指名して答えさせる。</p> <p><b>考察</b></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>この段階でばらばらの記事でも自分の記事と似たような内容もあることに気づく生徒がいた。</p> <p>また、読み取りが難しくわからないまま終わってしまった生徒も見られたので、友達の発表を聞くことでどんなことを書けばいいのか目安にする生徒も見られた。</p> </div>	
展開	2 人物紹介記事を読んで、形式段落毎の内容を簡潔な言葉で表現する。	<p>T：今まではばらばらの記事だったけど、今日はみんなで同じ記事を読んで、人物紹介に必要な内容を読みとっていきましょう。</p> <p>T：教師が記事を範読する。</p> <p>T：ワークシートを配ります。付箋を7枚配ります。</p> <p>T：段落ごとに切っておりあります。それに小見出しをつけてみましょう。小見出しは付箋に書いて貼りましょう。</p> <p>緑のワークシートがグループのワークシートです。班の中で一番良いと思うものを貼っていきましょう。これは4人グループでやります。</p>	<p>人物を紹介した新聞記事を配布する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>阿部真奈さん「被災地でアナウンサーを務める高校生」</p> </div> <p>○ワークシートと付箋を配布する。</p> <p>○グループのワークシートには、グループの中でもっとも良いとする生徒の付箋を、個人のワークシートから貼りかえさせる。</p>	
<p>学習課題① 「人物紹介の記事を読んで段落ごとに小見出しをつけましょう。」</p>				

### グループでの活動1

TY生：何書けばいいの？

N生：（黒板を見て）「ああいうことを書けばいいんですよ」

（S生、N生、TY生は、小見出しをつけられずに困っている。）

T生：①と③がわからないけど、①は放送の様子

N生：同じようなことにした。

TY生：②は仕事の様子

O生：仕事との出会い

T生：どっちもあっていいよね。

苦しくなってきた。できているところから貼っていく。

T生：④はアナウンサーをやろうと思ったきっかけにした。

O生：私もラジオの仕事を引き受けたきっかけにした。

T：それでは、そのくらいにしましょう。席を元に戻して下さい。できた班は発表してください。

#### 1班

- ①アナウンスしている場所
- ②アナウンサーの仕事と両立していることの紹介
- ③東日本大震災の被害
- ④アナウンサーを務めたきっかけ
- ⑤今の状況の中でやらなければならないこと
- ⑥やりがい
- ⑦女川町に対する思い

#### (2班略)

#### 3班

- ①明るい声
- ②高校生アナウンサー
- ③震災の大きさ
- ④町のために
- ⑤本当の声
- ⑥町の人からの声
- ⑦新しい女川

#### (4, 5, 6班略)

T：この記事を書くために記者の方たちはどのような質問をしたのか、段落ごとにグループで考えてみましょう。

#### 学習課題②

「記事を書くためにどのようなことを質問すればいいのか考えよう」

### グループでの活動2

T生：震災後の町はどんなようすでしたか？

N生：なぜ、この仕事をされたのですか。

○グループの代表者に発表させ、全体で確認をさせる。

### 考察

はじめなかなか書き出せないグループもあったが、次第に声を交えながら、内容を付箋に書き始めた生徒達であった。が、かなり困難を感じながらまとめていた。グループの活動が乗り越える手だてになった。



3 記事の内容を引き出す質問項目を考える。

○質問項目はワークシ

終末	4 本時のまとめと次時の活動の見通しを持つ。	<p>○生：仕事をしている上でのやりがいは何ですか。 (お互いにうなずきあいながら、考えている。)</p> <p>T：席を戻して下さい。それではグループで考えた質問を発表して下さい。(略)</p> <p>Y I 生：⑥は、仕事をしている上で何がやりがいですか。 ⑦は、なぜ、ラジオの仕事を受けたのですか。 ⑧は、どのような思いをされましたか。</p> <p>T：今日わかったことを書いて下さい。 次に、自分たちが山中の有名人を書くのだけど、参考にしたいこと、取り入れたいことを書いて下さい。</p> <p>T：次の時間は人物紹介するための内容を決めて、質問事項を考えます。</p>	<p><b>考察</b></p> <p>生徒達は、インタビューの内容を考える場面では、友達の意見をとり入れながら、相手のことを考えながら、質問を意図的に考えた。人物紹介するための必要感が意欲を引き出したと思われる。</p> <p>○発表が終わったら、座席を前向きに戻す。</p> <p>○グループの代表者に発表させる。</p> <p>○本時の学習でわかったこと・自分たちの紹介文に取り入れたいことを書かせる。</p> <p>○次時の活動について説明する。</p>	
----	------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

(5) 本単元を通しての生徒の反応、感想、意見

- ・ 普段はあまり読まない新聞をじっくり読んで新聞記事の書き方や、文章の構成などを初めて知ることができた。そして、じっくり読むことで今まで知らなかった社会の状況を確認することができた。6年生向けの文章を考えることで相手に応じた文章の書き方などを学べた。

**考察**

- ・ 新聞にいつも載っている短い記事でも2, 3つなどとたくさん質問しないと文にできないことがわかった。そのときの気持ちなどを尋ねるといい。新聞を書く時は「5W1H」に気をつけて書くとうまく文章がまとまった。班で調べてきたことを情報交換して、書きやすくなった。また、過去、現在、未来に気をつけると伝わりやすいことがわかった。

わかりやすく伝えるために5W1Hの書き方に気をつけ文章が書きやすくなった生徒

- ・ 新聞は、時間(過去・現在・未来)など1段落の内容をわかりやすく書くと良い。記事を書いて、今まで自分の感じてきたことや思っていたこと以上に詳しくわかりやすく記事にできて良かったです。誰にでもわかりやすく読みやすく、相手に伝えたいことが伝わると思う。

過去・現在・未来の構成に学んだ生徒

- ・ 新聞を書くにはものすごい量の質問をしなければならない。やっぱり読む人に対してわかりやすく書くのが大事。

取材では、多くの質問が必要であることを実感した生徒

- ・ いつも何気なく新聞を見ていたけど、自分たちで作ってみて作るのは、いろいろ調べなくてはいけなくて、大変だったのでこれからは、しっかり新聞を読もうと思いました。T君のことをたくさん調べて又良いところが見つかったので良かった。

難しさ、大変さを乗り越え、新聞を使った授業の良さに気づき、達成感を味わった生徒

## 4、研究のまとめ

### ○継続的な新聞活用

- ・人物紹介をするために、自分が興味のある記事をスクラップし、その書きぶり、構成、取材をそこから学べた。手元に記事も残るため、あとから見返しながら、自分の人物紹介に役立てる姿が見られた。
- ・実際の新聞記事から、インタビューの内容を考えることを通して、読み手にわかりやすく伝えるためには多くの取材が必要であり、その中から取捨選択して記事を書き上げていることを学べた生徒の姿が見られた。本時は、一部の記事のインタビューの内容を考えたのだが、その学習があったからこそ、実際の取材でたくさんの質問を相手に失礼のないように、考えながらする姿が見られた。

### ○2段階のグループでの活動

- ・グループで新聞の内容を確認する場面では、黙っていても友達から考え方を取り入れる姿が見られた。多くの生徒が友達に聴くことにより、自分の考えをもてるようになった。また、友達に自分の考えを認められ、安心する場面があった。自分の意見を伝え、友と意見を関わらせながら学びあう姿が見られた。

## 5、残された課題

- ・本時は、記事の内容をつかむ場面では、小見出しという言葉を使ったが、生徒にわかりにくかった。「どんな内容（こと）が書かれていたか」という言葉の方がわかりやすかった。新聞は授業に活用する場合、その都度教師側の、生徒の実態に合わせた明確で、わかりやすい提示の仕方が必要であると思われる。
- ・困難に立ち向かう同じ年代の高校生の姿に、新一年生も含めた山中の生徒たちも、悩みや不安を乗り越えていこうという教師側の願いもあり、今回高校生の記事を選ばせて頂いた。それだけに真剣に読んで考える姿があった。しかし、女川町の方々は被災地というイメージをもたれ、悲しい思いをしているという別の記事を読んだとき、この記事を取り上げて良かったのかという思いも持った。しかし、今後も新聞を通して事実を知って、東北の方々に、変わらぬ思いを持ち続けることが大切であると思うと同時に、この経験を実際の自分たちにできる支援につなげたいと思うようになった。今後も新聞を通して生徒たちと共に考えていきたい。

↓信濃毎日新聞で紹介された本校の実践授業  
(2011年11月13日付)



←スクラップする生徒



インタビューする生徒→